

## 平成30年度における関係団体の取組状況

## 1 青森県小学校長会

活 動 内 容	
<p>県下10の地区における全般的な取組</p> <p>1 学校における「食育の全体計画」の整備・見直しに努めている。</p> <p>2 教科、総合的な学習の時間、特別活動（学校給食の時間）等、教育活動全体を通して食育の推進に努めている。</p> <p>3 専門的知識を持つ栄養教諭、学校栄養職員、調理員、生産者等をゲストティーチャーに迎えた授業を行い、食の指導に生かしている。</p> <p>4 学校保健委員会の活動に生かし、児童のみならず、教職員、保護者、地域の方々と共に、食について考える機会の設定に努めている。</p> <p>※ 食育イベントを開催して、栄養教諭、学校栄養職員が給食の紹介や食育のクイズやゲーム等をしている地区がある。</p>	
今後重点的に取り組みたい事項の例	<p>1 子どもの健康課題への取組として、食育の性格上、家庭との連携は欠かせない。養護教諭と連携して、個別指導に取り組んでいる地区がある。</p> <p>2 栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎えた出前授業を一部の学年ではなく、全学年での実施を掲げている地区がある。</p>
取組の具体的な手法や特徴的なことの例	<p>1 全小学校において、栄養教諭を活用した授業を実施している地区がある。</p> <p>2 PTAが中心となり、栄養教諭や学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え、保護者向けの食育に取り組んでいる地区がある。（講話、調理実習等）</p> <p>3 参観日の機会を利用して、栄養教諭、学校栄養職員をゲストティーチャーに迎え講演をした地区がある。</p> <p>4 学校栄養職員の活用が重視され、多くの学校で学校保健委員会や学級活動（保健、家庭）、クラブ活動等での活用が見られている地区がある。</p>

## 2 青森県中学校長会

活 動 内 容
<p>1 「家庭科」「保健体育」の授業で、食と健康等食育に関する内容を展開し、学習のねらいを達成できるようにしている。</p> <p>2 生徒会の保健委員会の活動を効果的に展開し、保健委員だけでなく、全校集会等を活用し、全校生徒に健康と食の関係を理解させている。</p> <p>3 学校と家庭が連携し、家庭において日本の伝統的な食文化や郷土食の良さを再認識できるよう努めている。</p> <p>4 学校給食等をとおして、食の大切さを学ばせている。 (学校給食センターからの「月ごとのメニュー」「給食便り」「お知らせ」の活用など)</p>

### 3 青森県高等学校長協会

#### 活 動 内 容

高等学校において食育は学校教育活動のなかで行われるものであるが、特に男女必修科目「家庭科」の授業において以下の通り、生活全体のなかでの食生活の営みという視点を持って指導に努めている。

- ① 食生活を営む力を育むためライフステージ毎の食生活について考える機会を作る。
- ② 栄養、食品、調理及び食品衛生について科学的に理解できる実験・実習を用いた授業を行う。
- ③ 安全と環境に配慮し主体的に食生活を営む力を身につける。
- ④ 「自分で食事を作る」「お弁当の日」など食材を意識する機会を設ける。
- ⑤ 食生活上の課題を把握し、それらを解決するために学校家庭クラブの活動やホームプロジェクトを利用し食育に関する実践的活動を行う。

食に関する専門科目の授業においては、我が国の食を取り巻く環境の変化や食生活の多様化、国民の健康増進の重要性を考えた食育の推進を図っている。

- ① 食生活が健康に影響することについて、国民健康・栄養調査、朝食の欠食、栄養の偏り、食習慣の乱れ、脂質の過剰摂取、野菜の摂取不足などの実態や生活習慣病の増加など具体的に考える機会を通して食生活の改善に主体的に取り組む力を身につける。
- ② 地域の保育所や幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、社会教育団体や特定非営利活動法人、企業や事業所などの各種団体と連携し活動する。

※青森県高等学校長協会家庭部会の研修会においては、学校長だけでなく家庭科教諭を含めて食育に関係する講義を実施した。

平成29年度秋季研修会

講師 一般財団法人 だしソムリエ協会認定講師 奥村 雅美氏

演題 だし活しよう だしでココロとカラダを元気に

平成30年度秋季研修会

講師 東北女子大学家政学部 部長 加藤 秀夫氏

演題 時間栄養学と健康 マスコミでは語れない 食のウソ・ホント

## 4 青森県特別支援学校校長会

活 動 内 容	
<p>本校長会としての事業は実施していませんが、各校の学校運営において食育に関する指導を位置づけ、計画的、継続的に取組を進めております。以下、各校の幼児児童生徒の障害等の状況に応じた主な取組を集約し、報告いたします。</p>	
取組や具体的手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	<p>授業における取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食週間にミニ講話の実施</li> <li>・学部朝会での食に関する講話</li> <li>・給食委員会活動での栄養士への給食インタビュー（放送）</li> <li>・学級における野菜栽培と調理活動</li> <li>・一人一品調理実習</li> <li>・学校農園野菜を活用したジュース作りと震災被害地への寄付</li> <li>・郷土料理の学習と調理</li> <li>・食事のマナー学習</li> <li>・現場実習中のバランスのよい食べ方、昼食選び</li> <li>・幼児児童生徒を対象とした栄養教諭による授業</li> <li>・給食センター見学 など</li> </ul>
研修会としての取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食試食会（レシピの提供）</li> <li>・学習会（肥満予防、偏食、生活習慣病の予防、食の減塩・低糖、だしの活用、食物アレルギー、形態食、など）</li> </ul> </li> <li>○教員対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食指導</li> <li>・非常食、特別食（食物アレルギー対応食）</li> <li>・食物アレルギーやアナフィラキシーショックへの対応</li> <li>・偏食や肥満対応</li> <li>・嘔吐物の処理 など</li> </ul> </li> </ul>
イベント的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食 セレクト給食、リクエスト給食、バイキング給食、行事食 全国・県内の郷土料理給食、ふるさと産品給食</li> <li>・全校朝会での児童生徒の給食目標の寸劇</li> <li>・災害備蓄食料試食会</li> <li>・避難訓練時に救給カレーを含む献立の提供</li> <li>・校内献立コンクール</li> <li>・児童生徒会による栄養士さん、調理員さんに感謝する会</li> <li>・地域の食品工場の見学 など</li> </ul>

そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する指導の全体計画の作成</li> <li>・食育に関する情報提供 食育コーナーの設置、給食メニューの写真カードや給食ニュースの掲示</li> <li>・給食だよりの発行</li> <li>・清涼飲料水の砂糖や菓子の資質量の掲示</li> <li>・ホームページへの「おすすめ給食」の掲載</li> <li>・給食で使われている食材や珍しい食材等の実物やレプリカの展示</li> <li>・旬の野菜の紹介（絵カード）</li> <li>・青森県学校給食献立コンクールへの参加 など</li> </ul>
-------------	--

## 5 青森県学校保健会

活 動 内 容	
1	健やか青森っ子プラン「健やか青森っ子生活習慣病防止対策」の実施
2	「青森県学校保健・安全・給食研究大会」の開催 ○期日：平成30年8月9日（木）～10日（金） ○会場：三沢市国際交流スポーツセンター、三沢市国際交流教育センター、ホテルグランドヒルつたや
3	学校保健関係団体が行う健康教育に対する支援
取組の具体的手法や特徴的なこと	県教育委員会、郡市学校保健会及び学校保健関係団体等と連携し、幼児、児童生徒の心身の健康の保持増進と健康課題を解決するため、健康教育としての食育を推進。
今後取り組みたい事項	これまで同様、健康教育の中で総合的に取り組むとともに、学校保健関係団体が行う食育に関して積極的に支援する。

## 6 青森県PTA連合会

事業名	食育活動助成事業
期 日	平成30年6月～平成31年3月
連 携 団 体	(公財) 青森県学校給食会
活動内容・参加者等	PTAが行う食育活動に対して、(公財) 青森県学校給食会から経費の助成を受け、親子料理教室やファミリー料理教室を実施している。

## 7 公益財団法人 青森県学校給食会

### 活 動 内 容

1 学校給食に「生きた教材」として、本県で生産された農畜産物及び水産物を年間を通して安定的に供給できるよう、県農林水産部、農協、漁協等の協力、支援を頂き、地場産品の商品の開発・加工に取り組んでいる。

平成 30 年度の県産冷凍カット野菜は、引き続き、「ほうれん草」、「小松菜」等の加工を行い、供給を行った。「ほうれん草」、「たまねぎ」、「じゃがいも」については、加工数量の増加を図るため、原料野菜の安定確保及び加工工場の開拓に向けた取り組みを行っている。

また、県産の水産・畜産加工品については、24 年度に「イカ」、「イワシ」、25 年度に「サケ」、26 年度に「トビウオ」、「青森シャモロック」の加工品の開発を行った。

更に、県産食材の利用率向上を図るため、地場産物加工品を製造できる県内工場の開拓等の取り組みを行っているほか、県学校栄養士協議会 O B 会の会員の協力を得て「地場産物活用推進検討委員会」を設け、地場産物加工品の商品開発等について検討を行い、平成 30 年度から「ごぼう入つくねハンバーグ」の供給を開始している。

2 学校給食用小麦粉パンについては、主原料を県産小麦ゆきちからを 100% 使用し、更に食塩を減量した新たな配合の小麦粉パンと雪にんじんパンを商品開発し、平成 28 年度から供給を開始した。

パン給食の充実を図るため、平成 26 年 10 月より、地場産物の消費拡大の観点から県産雪にんじんペストを 25% 混入し、更に乳アレルギーに対応した雪にんじんパンの供給を開始している。

また、子どもたちに喜ばれる多様化パンとしてのバターロールの商品開発、小麦粉パン等の品質向上のため、製造時の水分及びグルテンの配合量を調整するなど製造レシピの見直しを行い、平成 30 年度からバターロール及び新たな配合の小麦粉パンの供給を開始している。

3 学校給食用米粉パンについては、平成 23 年度から県産小麦ゆきちからと県産米粉を原料とした県産品 100% の米粉パンの供給を行っている。平成 29 年度より小麦粉パン及び雪にんじんパンと同様に食塩を減量し、更にグルテンを減量した新たな配合の米粉パンの供給を開始している。

4 学校給食に関する食育活動の一環として、フードモデル（農水産物 36 種類、教材セット）を指導教材として作成し、学校・食育関係団体等に貸出を行っている。

5 青森県 P T A 連合会と連携して、県内の郡市連合 P T A 及び単位 P T A 活動の「食育推進事業」に対し、経費の一部を助成する事業を行っている。

6 地場産品を活用した食に関する指導の充実を図るため、青森県学校給食献立コンクールを青森県教育委員会等と共催で実施し、食育推進の支援を行った。

また、コンクール作品が今後の学校給食の献立として活用されるよう商品開発を行っている。

取組の具体的  
手法や特徴的  
なこと

青森県学校給食センター連絡協議会、青森県学校栄養士協議会及び青森県 P T A 連合会との連携を図り、食育の普及啓発を効果的に行うとともに、生産者団体等の協力を得て、地産地消の商品開発に努めたい。

## 8 青森県学校給食センター連絡協議会

活 動 内 容	
学校給食センターの運営を円滑に推進するために、食育及び地産地消に関する研修会等を開催し、食育事業に取り組んだ。	
取組の具体的手法や特徴的なこと	学校給食関係団体と連携して、食育事業を支援していきたい。

## 9 青森県養護教員会

活 動 内 容	
<p>1 会員各自が、勤務校において、家庭・地域・関係機関と連携を図りながら、食育に関する内容に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校栄養職員と連携し、発達段階に応じた学級・学年における「食」に関する指導の計画・実施。</li> <li>・学校保健委員会等で、「食」をテーマに取り上げ、健康な体づくりについて家庭や地域と考える場の設定と実施。</li> <li>・食物アレルギーについて、職員を対象とした研修の実施。</li> <li>・参観日やPTA委員会等での「食」に関する講話や給食試食会・調理実習等の実施。</li> </ul> <p>2 県または各郡市において、会員の研修会や情報交換の場を設定し、児童生徒の健康課題改善のため、「食」に関する実践の紹介や研修を実施して資質の向上を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北五養護教員会第1回研修会 平成30年8月6日 講演・実技「成長する子どもが運動するときの栄養について」 鶴田町健康保険課国保介護班 栄養士・健康運動指導士 太田 茂子 氏</li> </ul> <p>3 本会のHP（あおりんご）に県の「食」に関する情報や研修会の案内等を掲載し、会員の「食」に関する情報の周知や、研修会の紹介に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あおりんご食命人自立活動支援事業（青森県農林水産部）のページとリンク</li> </ul>	
取り組みの具体的手法や特徴的なこと	学校栄養職員が配置されていない学校に勤務する会員が多く、校務分掌の中でも「食育」や「給食」に携わることが多い。そのため、養護教諭が自校の実態から、多岐にわたる健康課題を「食」と関連づけながら関係職員・関係機関と連携し、実態改善に向けた取り組みを行うことができる。

## 10 青森県学校栄養士協議会

活 動 内 容	
<p>1 毎年6月、11月に「ふるさと産品給食の日」と名付け、県産品や地域の産品を多く取り入れた給食を実施。</p> <p>2 県スポーツ健康課のあおもり型給食促進事業を受けて、5つのコンセプトである、「塩分ひかえめ・野菜たっぷり・あぶらほどよく・ごはんしっかり・青森に感謝」に沿った献立を作成し実施。</p> <p>3 体格から個人別に推定エネルギー必要量を算出する「栄養管理システム」を活用して、給食管理を行い、肥満改善に向けて取り組んだ。</p> <p>4 食に関する指導として、関係職員と連携し、給食時間や家庭科・保健体育等の教科でバランスのとれた食事のとり方、健康的な生活の過ごし方などの指導を行い、学校保健委員会では助言を行った。</p> <p>5 児童生徒に喜ばれる給食を目指し、料理人を講師に迎えて調理講習会を開催し、会員の資質向上に努めた。また、会員が講師となり、勤務校や他校の保護者や児童生徒を対象に、家庭の望ましい食生活につながるような調理講習会を行った。</p>	
取組の具体的なこと	<p>1 「ふるさと産品給食の日」には、給食だよりや校内放送等で県産品や地域の産品を紹介し、児童生徒、保護者に対して地産地消の啓発を図った。</p> <p>2 あおもり型給食の普及については、県販売戦略課で開発した「できるだし」を使った減塩料理や野菜をたっぷり使ったおいしい料理などを、調理講習会で保護者に伝達した。</p> <p>3 食に関する指導では、地区ごとに生活習慣病予防につながるようなテーマを設け、保健所と連携した指導や教科と関連づけた指導、運動の実際等を実施。</p>
今後重点的に取り組みたい事項の例	<p>1 児童生徒の肥満改善に向け、効果を上げる方策について部会を設けて研究し、実践していきたい。</p> <p>2 食に関する指導については、県内広範囲に実践できるように、関係職員と連携して取り組んでいきたい。</p>

## 11 特定非営利活動法人 青森県消費者協会

活 動 内 容	
<p>1 食育活動の継続</p> <p>(1) 食の安全・安心推進事業</p> <p>(2) 地産地消推進事業・県産食材利用推進事業</p> <p>(3) 食品ロス削減推進事業</p> <p>2 重点的な取組内容</p>	
事業名①	食の安全・安心推進事業(4回)
期 日	平成30年4月～平成31年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>食の安全・安心の推進について専門家を招き、講演会、フォーラム、研修会、学習会・料理講習会等を開催</p> <p>■5月23日(水)</p> <p>平成30年度 消費生活大学講座 第1回</p>

	<p>『「エシカル消費」ってなに？～みんなの消費が変われば未来が変わる～』  講師：消費者庁 審議官 橋本 次郎氏  会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール</p> <p>■8月22日（水）  平成30年度 消費生活大学講座 第4回  『今、青森のお米がおいしい～「青天の霹靂」がけん引するあおもり米～』  講師：青森県下北地域県民局地域農林水産次長 菊池 昌彦氏  会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール</p> <p>■10月22日（月）  「食品表示制度の概要」  講師：青森県食の安全・安心推進課 企画調整グループ 主幹 篠谷 陽悦氏  会場：県民福祉プラザ4F 多目的室4B</p> <p>■11月7日（水）  第54回青森県消費者大会  「食の安全～正しい知識で賢く選ぼう～」  講師：青森中央短期大学 食物栄養学科 准教授 清澤 朋子氏  会場：県民福祉プラザ4F 県民ホール</p>
事業名②	地産地消推進事業・県産食材利用推進事業（5回）
期 日	平成30年4月～平成31年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>県産品に親しみ、利用拡大するための料理講習会、バスツアー等を実施、参加。</p> <p>■6月27日（水）  「給食センター見学会」  会場：青森市小学校給食センター</p> <p>■7月9日（月）  「青森ほたてキャラバン～料理教室in青森県消費者協会～」  会場：県民福祉プラザ 5F 調理実習室  ・青森県ほたて流通振興協会 主催</p> <p>■9月26日（水）  『県産米「あさゆき」試食会』 参加  会場：県民福祉プラザ  ・粋生（いきいき）農園『五ツ星』グループ  青森県農林水産部食の安全・安心推進課 主催</p> <p>◆12月2日（日）  親子で学ぼう！消費生活</p>



	<p>「親子で作る！クリスマス料理&amp;知っておきたいお金のこと」）」  講師：青森県金融広報委員会 福士 裕司氏  前青森県学校栄養士協議会 会長 相馬 英子氏  会場：県民福祉プラザ 5F 調理実習室</p> <p>◆12月14日（金）  「県産豚肉を使った料理」  講師：前青森県学校栄養士協議会 会長 相馬 英子氏  会場：県民福祉プラザ 5F 調理実習室  ・一般社団法人 青森県養豚協会共催</p>
事業名③	食品ロス削減推進事業（1回）
期 日	平成30年4月～平成31年3月
場 所	青森市
活動内容・参加者等	<p>食品ロス削減を目的とした講演会、料理講習会の開催、参加。</p> <p>■1月11日(金)  平成30年度 もったいない・あおもり県民運動推進大会 参加  「もったいないが未来を変える！～食から変える“COOL CHOICE”～」  講師：食品ロス問題専門家・ジャーナリスト・消費生活アドバイザー  井出 留美 氏  会場：アピオあおもり 2F イベントホール  ・青森県もったいない・あおもり県民運動推進会議 主催</p>

## 1 2 青森県食生活改善推進員連絡協議会

活 動 内 容	
1	<p>おやこの食育教室  「食育5つの力」の中から「食べ物をえらぶ力」「食べ物の味がわかる力」をテーマに、料理講習会と減塩指導。</p>
2	<p>男性料理講習会  生活習慣病予防や減塩、食育をテーマに調理実習、講話、健康相談を実施。</p>
3	<p>生涯骨太クッキング（生活習慣病とロコモ予防）  「カルシウム不足」を改善し、効率の良い牛乳、乳製品の摂取の調理実習と普及。</p>
4	<p>やさしい在宅介護教室  元気で長寿を全うするため、自分でできる在宅介護食を知り、教室を開催する。</p>
5	<p>生活習慣病予防のためのスキルアップ事業  世代別にみる生活習慣病予防のための講話、調理実習。</p>
6	<p>食育推進事業  地域住民、一般成人、中高生を対象に望ましい食習慣・知識など普及啓発。</p>
7	<p>食事バランスガイド推進事業  食事バランスガイドの普及浸透を図るために、調理実習・講話・伝達調理を実施。</p>

8 乳幼児検診等における「だし活」伝道業務（県） 子供のころからのうす味定着・減普及。	
9 飲食店麺類塩分改善事業（県） 「健康で長生きな青森県」を目指し、県内の食環境を調べる。	
事業名 ①	生活習慣病予防のためのスキルアップ事業
期 日	平成30年9月～
場 所	若者世代 13ヶ所×30=390名、働き世代 12ヶ所×30=360名、 高齢世代（シニアカフェ） 10ヶ所×30=300名
活動内容・ 参加者等	世代別ニーズに合わせた食生活改善の推進。若者世代は、朝食欠食の解消とバランス食。働き世代は、生活習慣病予防。高齢者は、低栄養予防と孤立化の予防。
事業名 ②	乳幼児健診における「だし活」伝道活動
期 日	平成30年6月～平成31年1月
場 所	青森県内40市町村 140回実施
活動内容・ 参加者等	3才児健診を中心とした乳幼児健診に同行した保護者や参加者に対し、「だし活」料理・みそ汁を試食提供する。幼少期からのうす味定着。
事業名 ③	飲食店麺類塩分改善事業
期 日	平成30年8月～平成31年1月末
場 所	青森県内飲食店100店舗
活動内容・ 参加者等	麺類（ラーメン、うどん、そば）を提供する飲食店を訪問し、スープの重量と塩分とを計測する
事業名 ④	やさしい介護教室
期 日	平成30年9月～平成31年1月
場 所	青森県内5ヶ所 30×5=150名
活動内容・ 参加者等	自分でできる介護食を知り、作り方を学ぶことを目的に教室を開催する。講習会、調理実習、脳体操実施。 ※食生活改善推進員及び一般住民を対象。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に協力してもらうため、学校、団体、イベント、飲食店など、直接交渉して、事業説明、主旨説明をして、理解してもらう。</li> <li>・試食提供時、食物アレルギーを必ず確認する。</li> <li>・若者、働き世代は、託児所を設けて対処。</li> <li>・壮年、高齢世代は、老人クラブなどに交渉。</li> </ul>

### 13 青森県生活協同組合連合会

事業名 ①	食と健康公開講座「食と体内時計を基盤とした健康づくり」
期 日	2018年7月30日(月) 弘前市 弘前文化センター(参加82人)
場 所	2018年8月1日(水) 青森市 アウガ5階ホール(〃 90人)
	2018年9月8日(土) むつ市 下北文化会館(〃 31人)
	2018年9月15日(土) 八戸市 八戸市福祉公民館(〃 118人)
	2018年10月13日(土) 十和田市 十和田市民文化センター(〃 72人)
活動内容・参加者等	東北女子大健康栄養学科との共催で、一般市民向けに健康と食についての確かな情報を伝えることにより短命県返上に寄与することを目的として、県内5市で開催、延べ393名の参加。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森県および開催地自治体・教育委員会、青森県食生活改善推進員連絡協議会、県栄養士会、マスコミ等の後援により、広く広報していただいた。</li> <li>9月～11月までの健康チャレンジの取組みの推進企画として位置づけ県内5市での開催とした。</li> <li>テーマにより高校生や家族連れの参加もあり関心の高さを感じた。</li> </ul>
備 考	次年度も引き続き5会場での開催を予定している。
事業名 ②	食生活習慣自己チェック表等のツールの開発
期 日	2018年4月～2019年3月
活動内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>東北女子大学健康栄養学科と協力し、自己の食生活習慣の課題をチェックすることによって食生活と栄養の問題点を知ることができる自己チェック表を開発した。新年度から実践的に活用していく。</li> <li>①食生活自己チェック表 ②食生活アクティブ度チェック表</li> <li>③栄養とからだの診断表</li> </ul>
事業名 ③	ゲノム編集の食品に関する学習と意見交換会
期 日	2018年12月6日(水)
場 所	青森市男女共同参画プラザ(カダール)研修室
活動内容・参加者等	遺伝子組換え技術を応用したゲノム編集の食品の研究について、学習と消費者の不安や疑問に応える機会として開催した。(参加者53名)
取組の具体的な手法や特徴的なこと	青森県とマスコミの後援をいただき開催した。参加者から絶え間なく質問が出され、関心の高さと併せて安全性への不安が表明された。
事業名 ④	大学や食品メーカーと協力した「食と健康」教室
期 日	2018年7月3日 食と健康講座 青森中央市民センター(参加80名)
場 所	2018年8月21日 トリプルリスクケアフォーラム
参加者等	青森中央学院大学(参加34名)
	2018年9月21日 ヤクルトおなか元気教室 生協コスモス館(〃 15名)
	2018年10月2日 ポッカさっぽろレモン大学 コスモス館(〃 21名)
	2018年11月22日 味の素 健康ヘルシーアップセミナー
	青森市文化会館(〃 24名)
活動内容	青森県民生協では、「健康長寿の実現と地域の活力の持続」を目標に掲げ、創立30周年記念事業の位置づけのもと、大学やメーカーと連携して健康づくりを組合員に広げ、地域に密着した活動をひろげている。

取組の具体的な手法や特徴的なこと	店舗を活用した身近で気軽に参加できる健康教室の開催を通じて、買い物だけではなく健康づくりや様々な相談、集いの場所として地域に認知されていければと考えている。
事業名 ⑤	弘前大学生協特産品プロジェクト
期 日	2018年12月1日(土)
場 所	弘前市 弘前大学文京食堂 Horest 多目的A
活動内容・参加者等	弘前大学生協では、大学入学により学生の多くが故郷を離れ一人暮らしを始めること、縁あって弘前に来たことを受けて、学生に青森の食を知って、食べて、興味を持ってもらい、食の楽しさを学生から学生に伝える企画として開催した。(参加者79人)
取組の具体的な手法や特徴的なこと	・青森の特産品を使用した特産料理として4品を提供した。 せんべい汁・しょうがみそおでん・ねりこみ・きんかもち ・青森の特産品・特産料理について情報提供を行った。 特産品の紹介、メリット、経済流通、レシピの歴史
備 考	参加者が楽しそうに食事をしていたのが印象的だった。

#### 14 青森県生活研究グループ連絡協議会

事業名 ①	「津軽の味っこ」伝承料理講習会(弘前地区連)
期 日	平成30年12月19日(水)
場 所	弘前市 清水交流センター 調理室
活動内容・参加者等	○内 容: 郷土料理(6品)の調理実習、参加者との交流 ○参加者: 弘前市一般市民32名、会員10名、 中津県民局地域農林水産部1名 計43名 郷土料理を若者や子ども達の嗜好にも合うように味付けを工夫し、食の文化伝承財として伝承していくために、平成24年度から開催している。
事業名 ②	東北栄養専門学校生のための郷土料理伝承会(黒石地区連)
期 日	平成31年1月19日(土)
場 所	弘前市 東北栄養専門学校 調理室
活動内容・参加者等	○内 容: 郷土料理(4品)の実習、意見交換 ○参加者: 1年生26名・教職員3名、会員9名、 中津県民局地域農林水産部1名 計39名 平成20年度から年1回実施している(今年度で11回目)。郷土料理メニューは学校からの意見を取り入れながらグループ員が検討し、事前に技術向上研修を行い伝承会に臨んでいる。
事業名 ③	手作りの味と技を楽しむ会(鱒ヶ沢地区連)
期 日	平成30年9月12日(水)
場 所	鱒ヶ沢町総合保健福祉センター
活動内容・参加者等	○内 容: 「煮て作るだんご」と「蒸して作るだんご」の実習、意見交換 ○講 師: 鱒ヶ沢地区連会員 ○参加者: 一般消費者14名、会員13名、支援機関1名 計28名

事業名 ④	食育推進応援隊～伝えたい味と技～（つがる市連）
期 日	平成 30 年 12 月 12 日（水）
場 所	つがる市生涯学習センター「松の館」
活動内容・参加者等	○内 容：「つがるの正月料理を作ろう」をテーマに、料理 3 品の実習、漬物の実演、意見交換 ○講 師：つがる市連会員 ○参加者：つがる市民 26 名、会員 11 名、支援機関 4 名 計 41 名
事業名 ⑥	奥津軽の味・技交流会（金木地区連）
期 日	平成 31 年 1 月 16 日（水）
場 所	中泊町中央公民館
活動内容・参加者等	○内 容：「農家や漁家ならではの食の知恵を学ぼう！」をテーマに、農家と漁家の自慢料理 4 品の実習、加工品 2 品の実演、健康体操の紹介 ○講 師：津鉄応援直売会員、金木地区連会員 ○参加者：旧金木地区の女性組織・団体 6 名、会員 12 名、支援機関 4 名 計 22 名
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	・各地区連とも主に会員が講師となり、調理実習を通して郷土料理の伝承や地産地消を推進している。 ・つがる市では、食育推進応援隊（市内の 4 女性団体）が交互に講師となり、年 4 回開催している。 ・つがる市連と金木地区連は広報で参加者を募集している。

## 15 一般社団法人 青森県調理師会

事業名	親子料理教室
期 日	平成 30 年 7 月 26 日（木）
場 所	アピオあおもり
活動内容・参加者等	小学生の親子 10 組 25 名が参加 県産食材を使った中国料理講習会を開催
取組の具体的な手法や特徴的なこと	県産食材を使った減塩、油脂を控えたバランスの良い料理を講習。 食事のマナーも教えます。

## 16 青森県農業協同組合中央会

事業名 ①	小学校 5 年生用社会科副読本「いのちはぐくむあおもりの農林水産業」の発行
期 日	平成 30 年 4 月 1 日発行
活動内容・参加者等	小学校 5 年生の社会科で学習する「わが国の産業と国土のようす」について、本県の例を参考に学習してもらうための副読本と、教師用の指導書を作成（児童用 11,500 部、教師用 1,120 部）。小学校 5 年生全員に配布。
事業名 ②	「ごはんお米とわたし」作文・図画コンクール
期 日	平成 30 年 6 月～平成 31 年 2 月

活動内容・参加者等	毎日のごはんのおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関する思い出や、考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してもらい、農業（特にお米やごはん食）を理解してもらうためにコンクール及び表彰式を実施。 ○対象：県内全小・中学校（実施校 117 校） ○作文 263 点、図画 176 点
事業名 ③	「バケツ稲づくり」
期 日	平成 30 年 4 月～
活動内容・参加者等	バケツを使って稲を育てるという一連の作業をとおして、お米やごはん、稲作文化、農業、食料の大切さを理解してもらうために、「バケツ稲づくりセット」①種籾（肥料付）、②栽培マニュアル、③手引書（教師用）を無償配布。 ○対象：全小学校（原則として 5 年生） 実施校 39 校 930 セット
事業名 ④	ちゃぐりんの学校への寄贈
期 日	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
活動内容・参加者等	各 J A と協力の植え、県内 179 校の小学校へ「ちゃぐりん」（J A グループの食農教育をすすめる子ども雑誌）を寄贈し、食料、農業への関心を醸成している。
事業名 ④	県内 J A での食農教育
期 日	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
活動内容・参加者等	県内 J A では、それぞれ独自のとりくみとして、農業体験学習（学童農園）の普及・推進、J A 施設見学の受入、親子料理教室の開催、出前授業などを実施している。

## 17 青森県 J A 女性組織協議会

事業名 ①	農業ふれあい教室
期 日	平成 30 年 4 月～平成 31 年 1 月
活動内容・参加者等	地域の子どもたちに、農産物の栽培をとおして、作る楽しさと食べる喜びを感じてもらい、農業に対する理解と地産地消の啓もうを図るために、県内 5 J A 女性部で管内小学校児童と一緒に植付けから収穫までの農業体験や、収穫した農産物を使った料理教室などを実施。県内小学生 190 名が参加。
事業名 ②	作文・かべ新聞コンクール
期 日	平成 30 年 12 月
活動内容・参加者等	農業ふれあい教室で農作業を体験した児童に作文・かべ新聞を書いてもらい、優秀者等を表彰。 応募作品数 作文：5 小学校から 19 作品、かべ新聞：5 小学校から 9 作品
事業名 ③	各 J A 女性部による地域に根ざした食育活動の展開
活動内容・参加者等	各 J A 女性部で、食育活動の一環として、地元小学校と連携し、学校給食の食材として地場産物を納入したり、農作業や調理など、各種体験学習の受入を実施。

## 18 全国農業協同組合連合会青森県本部

### 活 動 内 容

JAの活動を通して「農業」に接することにより、地元や県産農畜産物への理解・愛着を深めてもらいたいという意図のもと、小学生・園児に向けて食育活動に取り組んだ。

#### 1 紙芝居キャラバン：やさい部 やさい花き課

(1) 地域タレント「トリ☆ポン」のトークによる「青森いきいき野菜紙芝居」を実施した。

実施月日	市町村名	学校名	対 象
10月10日	平川市	からたけこども園	全園児 60名
10月24日	弘前市	自得小学校	1・2年生 26名
10月26日	青森市	新城小学校	全校児童 331名
12月20日	平川市	大坊こども園	全園児 75名
1月10日	弘前市	東部児童センター	130名
3月12日(予定)	平川市	平川中央こども園	全園児 75名

#### 2 食育体験（餅つき体験・バター作り体験）：営農対策部 販売企画課

農協会館1Fロビーでの「農畜産物即売会」や「歳末市」において、JA青森女性部の協力のもとに、子供達を対象に餅つきやバター作り体験などの食育活動に取り組んだ。

実施月日	催事名	実施場所	内容	備考
8月10日	農畜産物即売会	県農協会館	餅つき	子供の来場者
9月14日	〃	〃	餅つき バター作り	杉の子第2幼稚園 園児 49名
10月12日	〃	〃	餅つき バター作り	杉の子幼稚園 園児 59名
12月28日	歳末市	〃	餅つき	子供の来場者
12月29日	〃	〃	餅つき	子供の来場者

## 19 青森県青果卸売市場協会

事業名①	食育出前講座
期 日	平成30年7月21日(土)
場 所	八戸市大字河原木字神才7-4・八戸中央青果(株)
活動内容・ 参加者等	「朝から元気に！夏休み親子しじょう見学会」活気と元気あふれる朝の青果市場見学 ・・・食べ物大切さについて理解を深める。親子33名(大人14名・子供19名)
事業名②	食育出前講座
期 日	平成30年8月25日(土)
場 所	八戸市大字河原木字神才7-4・八戸中央青果(株)
活動内容・ 参加者等	「朝活！大人のための青果市場見学会」と称して、普段は絶対に入ることのない朝の活気あふれる青果市場を見学し市場流通の仕組みや食文化などについて学ぶ。 参加者 大人40名
事業名③	「夏休み親子市場体験会」青森市中央卸売市場運営協力会共催
期 日	平成30年7月28日(土)午前9時から午後1時
場 所	青森市中央卸売市場(青森合同青果(株))
活動内容・ 参加者等	冷蔵施設・バナナ加工施設の見学や「せり売り」の見学、西瓜の食べ比べなどを通じて、生鮮食料品の流過程や卸売市場の役割と責任さらには食を大切にする心を育て、日本型食生活の実践を促していく。参加者 親子7組15名
事業名④	食育出前講座
期 日	平成30年8月28日(火)
場 所	青森合同青果(株)・青森市卸町1番1号
活動内容・ 参加者等	『出前講座・食育学習』と称して、卸売市場の仕事と役割に関する講義、野菜・果物に関する講和、果物の品種紹介、ぶどうの食べ比べ(産地ごと5品種) 参加者・・・中学校生徒・保護者など 20名
事業名⑤	食育出前講座
期 日	平成30年5月24日(木)、10月23日(火)
場 所	十和田市大字三本木・十印 十和田青果株式会社
活動内容・ 参加者等	地域特産の十和田美人ごぼうの播種・収穫作業を体験してもらうとともに、根菜類のごぼうの栽培方法や市場流通の仕組みについて理解をしていただいた。さらに慣行栽培のごぼうと十和田美人ごぼうの食味・食感などの違いを知ってもらうため、試食会を実施。参加者 小学校児童、保護者など20名
事業名⑥	出前講座
期 日	平成31年1月31日(木)
場 所	五所川原市立稲垣小
活動内容・ 参加者等	「青森りんご出前授業」と称して、青森県の農産物、りんごの歴史、りんごの生産・栽培のDVD鑑賞、りんごの品種紹介、リンゴのクイズを行いりんごに対し理解を深めていただいた。小学校児童22名



## 20 一般社団法人 青森県りんご対策協議会

事業名	若年層を対象とした消費宣伝対策事業
期 日	平成30年9月～平成31年3月
場 所	青森県内、全国各地
活動内容・参加者等	<p>&lt;県内&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校給食用として使用するりんご購入費の一部を助成。</li> <li>2 青森県りんご果樹課が実施する小学校での「青森りんご出前授業」で使用するりんご、学童用資材の提供。</li> </ol> <p>&lt;県外&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 幼稚園、小学校等を対象とした「青森りんご食育授業」の実施。</li> <li>2 青森県主催の「青森県知事直伝！親子で学ぶアップルスクール」にミスりんごが参加。（大阪府、福岡県、沖縄県）</li> <li>3 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等を対象として、学習用や給食用としてりんごを提供。</li> <li>4 学童用資材の作製 りんごの品種やりんご作りの作業過程を紹介した下敷き、学習帳を作製し、全国各地の青果会社を通じて小学校等に配布。</li> <li>5 栄養系大学へのりんご提供 管理栄養士、栄養教諭の養成課程がある全国70以上の大学を対象に、授業教材としてりんごと青森りんごの学習冊子を配布。</li> </ol>
取組の具体的な手法や特徴的なこと	本会の構成団体である「全国9地区青森りんごの会」とのネットワークを活かし、全国各地で食育活動を展開。

## 21 公益財団法人 青森県りんご協会

事業名①	青年部 りんごPR
期 日	平成31年2月12日（火）～13日（水）
場 所	長崎県
活動内容・参加者等	長崎市土井首小学校6年生2クラス87名（4時間目）、同市深堀小学校5年生38名（6時間目）を対象に出前授業。長崎大同青果株式会社にて県産りんご動向の聞き取り。
事業名②	青年部女性支部 りんごPR
期 日	平成31年3月7日（木）～8日（金）
場 所	大阪府
活動内容・参加者等	大阪市福島小学校6年生77名（2時間目）、同市上福島小学校4年生28名（5時間目）を対象に、出前授業。大果大阪青果(株)にて、県産りんご動向の聞き取り。
取組の具体的な手法や特徴的なこと（他団体との連携など）	<p>県産りんごの栽培や販売について説明し、質問を受け、その後2品種（ふじ、王林）の試食を行った。栽培管理から出荷までを青年部で説明し、販売等については市場担当者が説明。</p> <p>（長崎大同青果(株)、県福岡情報センター、大果大阪青果(株)）</p>

## 2 2 青森県漁業協同組合連合会

活 動 内 容	
<p>1 青森県産水産物の品質、衛生管理面の向上に努めるとともに、適正な産地表示にもこれまで以上に取り組み、消費者との信頼関係の構築に努めました。</p> <p>2 青森ほたてのPRと、消費拡大を図るための宣伝活動を継続的に実施しました。</p> <p>3 青森県ほたて流通振興協会に共催し、県内小学校（4校）で出前講座を実施、県産ほたての長期的な食育推進と消費拡大を図りました。</p> <p>4 ホームページ上での「青森のほたて」「青森のお魚」「お魚クイズ・ことわざ・漢字」や「ネット販売」により、魚への知識向上と消費者への魚食普及を図りました。</p> <p>5 県内外の物産展等に出展参加し、県産水産物の販売、マグロの解体販売等で本県の水産物及びその加工品の美味しさをPRし、消費拡大を図りました。</p>	
取組の具体的なこと	漁協、関係団体と連携を密にし、本県水産物の更なる啓発と食育の推進に取り組んでいきます。

## 2 3 青森県漁協女性組織協議会

活 動 内 容	
<p>各地の漁協女性部の活動を支援。</p> <p>1 部員を対象とした活動への支援            (1) 地元で獲れる多種多様な魚の料理教室（郷土料理の伝承）            (2) 子どもの成長を願う行事での料理教室（伝統料理の伝承）</p> <p>2 学校を対象とした活動への支援            小学校、中学校、高等学校での料理教室（魚離れ対策、魚の料理法の普及）</p> <p>3 一般県民を対象とした活動への支援            各イベントに出店参加して、加工品の販売、魚食普及PR</p>	
取組の具体的なこと	地産地消、魚離れ対策、一次二次加工による付加価値をつける魚の料理法、伝統料理、郷土料理の伝承。 今後は保健所とも連携したい。

## 24 八戸水産加工業協同組合連合会

事業名 ①	第5回ご当地イカ料理コンテスト
期 日	平成30年8月10日
場 所	八戸ポータルミュージアムはっち
活動内容 参加者等	八戸ならではの「イカ」料理を発掘し、PRすることで、水揚げ日本一を誇るイカの生産振興および消費拡大のほか、日本一のイカの産地としての知名度向上を図る。応募資格は小学生以上とすることで、地元の食材を活用した食育に貢献。88作品の中から22作品を選出して最優秀賞を決定。
事業名 ②	「38（さば）DAYS2018」八戸前沖さばをとことん楽しむ38日間
期 日	平成30年10月26日～12月2日
場 所	八戸市内（中心街、八食センター、八戸魚市場等）
活動内容 参加者等	①8sabaFESTA in マチニワ、②8sabaFESTA in 八食センター、③第12回八戸前沖さばアイデア料理コンテスト、④八戸魚市場特別見学会、⑤八戸前沖さばをおいしく八戸ソウルフード料理教室、⑥船上活〆陸凍サバ刺身期間限定特別販売、⑦八戸前沖さばのネットショップ期間限定特別販売、⑧自家製〆さばの刺身期間限定特別販売、⑨38DAYS チャレンジ、⑩サバスタグラム、⑪八戸前沖さば「王鯖トリオ」を開催。楽しみながら鯖による食育普及を図りました。
取組の具体的 手法や特徴的 なこと	2019年は、全日本さば連合会による「鯖サミット」を八戸で開催するため準備中。昨年開催された「鯖サミット2018 in 松浦」では4万5千人も来客があり大盛況であった。

## 25 公益社団法人 青森県物産振興協会

事業名	「青森の食の魅力」を発信する青森県物産展等の開催
期 日	平成30年4月～平成31年3月
場 所	県内外の百貨店、量販店、当協会直営催事スペース（新青森駅内）、産業会館
活動内容・ 参加者等	本県が誇る安全・安心な農林水産物及びその加工品を県内外の消費者に広く紹介するために、物産催事や大農林水産祭を開催し、「青森の食の魅力」を発信した。

## 26 株式会社さくら野百貨店

事業名 ①	シニア野菜ソムリエの「野菜・食べ比べ教室」
期 日	毎月1回
場 所	さくら野百貨店 青森本店
活動内容・ 参加者等	店顧客を対象（20～40名）に、旬の野菜、果物の食べ比べや調理方法を紹介し、野菜・果物の魅力を多くの方へ広げる活動を実施。
取組の具体的 手法や特徴的 なこと	地場・地方の産地・取引先様からの協力もいただき実施。
備 考	平成30年度も実施予定

## 27 株式会社ユニバース

活 動 内 容	
事業名 ①	減塩・適塩 料理教室の開催
期 日	平成30年10月6日
場 所	弘前文化センター(弘前市)
活動内容・ 参加者等	約15名様が参加。食品メーカー様と連携して料理教室を開催。 減塩・適塩を意識した調理方法を学び、健康についての勉強会も開催。
事業名 ②	「クッキングサポート」でのメニュー提案
期 日	毎日 (メニューは、1週間を月曜日～木曜日の4日間、金曜日～日曜日の3日間に分けて週2品提案)
場 所	ユニバース十和田東店内、ユニバース東青森店内
活動内容・ 参加者等	「健康・減塩・低カロリー」をテーマに、食品メーカー様と連携してメニュー提案。 店内ではメニューを調理し、試食を提供。
事業名 ③	「嶽きみ収穫体験」の開催
期 日	平成30年9月2日開催
場 所	弘前市 岩木山麓
活動内容・ 参加者等	親子25組50名様に参加いただき、嶽きみ体験を開催。 収穫体験の後は、嶽きみのお振る舞いで旬の美味しさを味わった。
事業名 ④	「食育&健康 もっと野菜をたべよう」をテーマに野菜摂取促進の啓蒙
期 日	毎月実施(折込チラシには、毎週掲載)
場 所	店内POP、折込チラシ
活動内容・ 参加者等	「食育&健康 もっと野菜を食べよう」をテーマに店内POPや折込チラシに掲載することで野菜摂取促進の啓蒙活動を実施。
事業名 ⑤	「エコごぼう」の販売
期 日	平成30年1月19日開始(なくなり次第終了)
場 所	BH湊店、パワーズU十和田店除く全店
活動内容・ 参加者等	食品残渣を堆肥に分解・再生し、ご協力いただいている農家様に使用していただき、生産した「エコごぼう」を販売。

## 28 株式会社マエダ

事業名 ①	むつ市のうまいは日本一
期 日	平成30年8月、11月
場 所	マエダ本店、ガーラモール店
活動内容・参加者等	むつ市の特産品を集めて、試食実演販売
事業名 ②	お弁当の日
期 日	平成30年11月
場 所	むつ市立第二田名部小学校、マエダ本店
活動内容・参加者等	小学校で実施しているお弁当の日への協力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・お弁当の日に合わせて調理実習への卵やウインナーの提供。</li> <li>・お弁当の日の小学校での写真をマエダ本店で展示。</li> </ul>
事業名 ③	地場商品コーナーの展開
期 日	通年
場 所	各店舗
活動内容・参加者等	「地産地消」を目的に地場野菜を中心に販売。 全店に販売場所を常設。専任の仕入担当者をおき、野菜以外にも地元加工品を品揃えし、コーナーの充実を行っている。
事業名 ④	県産品愛用応援キャンペーンに合わせた県産品フェアの開催
期 日	平成30年9月～11月
場 所	県内各店舗
活動内容・参加者等	青森県産品特集のチラシ掲載。 各店で県産品愛用応援キャンペーンの応募企画。
事業名 ⑤	お客様料理教室の開催
期 日	平成31年2月
場 所	青森市、むつ市
活動内容・参加者等	ケーキ料理教室の開催。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	学校やメーカーと連携した。

## 29 株式会社イトーヨーカ堂 八戸沼館店

事業名①	クッキングサポート
期 日	通年
場 所	食品売場内 クッキングサポートコーナー
活動内容・ 参加者等	地場商品（野菜・果実・鯖・いか等）を使った、食事バランスの取れたレシピを簡単便利、時短に拘った提案を定期的実施して地産地消の推奨を次代のトレンドに合わせた提案をしています。
事業名②	野菜で健康大作戦
期 日	随時
場 所	食品売場内 青果コーナー
活動内容・ 参加者等	買い易い選び易いを基準に展開や価格を日々模索し検討し地場農家さんとの繋がりも重要視しながら「野菜で健康大作戦」の旗（のぼり）を立てて消費の拡大を狙う展開を継続しています。

## 30 株式会社イトーヨーカ堂 五所川原店

事業名①	「あおもり産直所まつり」
期 日	平成30年10月27日（土）、28日（日）
場 所	センターコート催事場
活動内容・ 参加者等	県内の産地直売所とイトーヨーカ堂五所川原店が連携した販売イベント。県庁と協力して、産地直売所とその地域を広くPRすることが目的。
事業名②	「青森中央短期大学監修 彩り弁当」の販売
期 日	平成30年9月3日（月）～9日（日）
場 所	お弁当売場
活動内容・ 参加者等	青森中央短期大学の学生が考えた「青森の味覚を盛り込んだ弁当」を店頭で販売。
事業名③	五所川原農林高校×味しらべがコラボ 「五農米で作った味しらべ」販売
期 日	平成31年2月25日（月）～
場 所	イトーヨーカ堂催事場
活動内容・ 参加者等	地元高校生が作った「五農米」を使った岩塚製菓「味しらべ」を販売。五所川原農林高校の生徒も販売のお手伝いとして来店し試食会を実施。

### 3 1 イオンリテール株式会社 イオン青森店

活 動 内 容	
<p>1 イオンホームページ「Let's 食育！」(URL <a href="http://www.aeonretail.jp/kodawari/shokuiku/">http://www.aeonretail.jp/kodawari/shokuiku/</a>)では、さまざまな食育への取組を紹介しています。 また、糖質オフ商品の紹介や、おすすめ健康レシピの提案も実施しています。</p> <p>2 青森県「短命県返上」「だし活」との連携強化。 「だし活」「おいしい減塩」商品の重点的販売を実施。</p> <p>3 毎月15日は「じもの日」と銘打って、青森の県産品の「安全・安心」をチラシ訴求するとともに、試食販売を実施。</p> <p>4 お総菜の揚げ油は、特定保健用食品「健康サララ」を使用し、高カロリー、高コレステロールに配慮した商品を販売。</p> <p>5 「イオンチアーズクラブ」の活動の中で、環境活動を行うとともに、食育活動も併せて実施しています。</p>	
事業名 ①	「だし活」の取組み
期 日	2016年3月1日より通年
場 所	イオン青森県 食品売場において
活動内容・参加者等	食品売場において、「できるだし」商品を通年コーナー展開。 できるだしを使ったおいしい減塩レシピをチラシに掲載 また、惣菜売場では食命人弁当や、高血圧予防の「3ダウンレシピ」惣菜とサラダを販売し、食品売場全体で短命県返上に取り組んでいる。
事業名 ②	毎月15日は「じもの日」
期 日	2014年10月15日より、イオン、ダイエー、マックスバリュなど全国約2,000店舗にて、地産地消・地産域消を推進する「じもの日」の取組みを開始。
場 所	イオン青森県 食品売場において
活動内容・参加者等	お客様に鮮度のよい、安全・安心な食品をお届けするため、地元生産者の皆さまとのパートナーシップのもと、旬の地場野菜や地元漁港から直送された鮮魚、地域の特産品など、青森県ならではの品々を試食販売も交えて地域振興に向け取組みをしています。
事業名 ③	イオン青森チアーズクラブ「青森県産品を使ったエコクッキング」
期 日	2018年9月22日
場 所	荒川市民センター
活動内容・参加者等	チアーズクラブメンバー 協力：NPO 法人青森市ストップ温暖化センター 昨年引き続き青森県産品を使ったエコクッキングを実施した。この活動では県産品の食材を通して、フードロス・フードマイレージの知識を深める内容にしている。また、ゴミをなるべく出さない調理法や、少ないエネルギーの時短料理も併せて学んだ。 お米と水を入れた炊飯器に、アルミホイルにくるんだ生卵とじゃがいもをいれると、ごはんと同時にゆでたまごとゆでたじゃがいもがいつ頃に出来上がり、メンバー一同とても驚いていた。

### 3 2 紅屋商事株式会社

事業名	「こだわりの味協同組合 食の勉強会」の実施
期 日	2018年9月13日、9月14日
場 所	カブセンター大野店お客様休憩コーナー、弘前市民会館
活動内容・参加者等	食の勉強会は、講師の方が弊社へ年3回の訪問が決定しており、その3回目を消費者参加型としました。内容は、①添加物について②安心安全な食べ物について等を商品の紹介を交え講話していただきました。又、参加された消費者へアンケートを実施し、無添加について等の関心度を測りました。講師の方は他県で実施済みですが、当社としては初めてでしたので、お客様に楽しく参加していただくように心がけました。
事業名	血管年齢測定会
期 日	2018年1月14日
場 所	カブセンター大野店お客様休憩コーナー
活動内容・参加者等	2017年9月に「あおり職域健康づくりリーダー育成ゼミ」に弊社から3名参加受講し、リーダーとしての認定を受けましたので、青森保健所より、血管年齢測定器を貸与させていただき、消費者と従業員を対象に血管年齢測定会を実施しました。50名ものお客様に興味をもっていただき、測定会は大盛況でした。
事業名	血管年齢測定（あおり職域健康づくりリーダー育成ゼミ）
期 日	2018年3月20日
場 所	カブセンター大野店お客様休憩コーナー
活動内容・参加者等	2018年1月に引き続き、消費者を対象に血管年齢測定会を実施しました。前回に引き続き、大勢のお客様に興味をもっていただきました。同日、弊社休憩室で従業員を対象としても測定会を実施しました。今後も継続していきたい。
事業名	東北女子短期大学との食育啓発活動の実施
期 日	2018年7月21日
場 所	カブセンター弘前店お客様休憩コーナー
活動内容・参加者等	毎年、地域の学校や自治団体との食育啓発活動を行っているが、今年も昨年に引き続き弘前市の東北女子短期大学生生活科の学生と一緒に取り組みました。テーマは「共食」とし、2部構成で実施を計画。 1部はPPTを使用した共食についての食育講話。 2部は学生が弊社のキャラクターを模した考案レシピ「いちごのクルクルサンド」を参加者全員で作って、親交を深めることにしました。 参加者は東北女子短期大学生生活科の学生14名、講師2名。 お客様からは男性4名、子供2名、女性4名であった。 弊社からは男性2名女性2名が参加しました。 参加者したお客様全員が熱心に学生の食育講話に聞き入っており、老若男女問わず食育に関心が高いことが伺えました。 又、当日は大学側と事前の打ち合わせが出来ていたことで、進行がスムーズでした。 今後も官民学と連携し、食育活動を推進していきたいと思っております。



### 3 3 一般社団法人 青森県歯科医師会

事業名	8020 健康社会フォーラム 2018
期 日	平成 30 年 11 月 11 日 (日)
場 所	青森県歯科医師会館 (青森市)
活動内容・参加者等	<p>参加対象：一般県民</p> <p>内 容：鶴見大学歯学部探索歯学講座 花田信弘教授の講演会          テーマ「口腔保健は生活習慣病の一次予防          ～8020 の達成から生涯 28(ニイハチ)の達成へ～」</p> <p>歯の健康に関するブースを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無料フッ素塗布、ブラッシング指導、歯科健康相談、検診・口腔がん検診、咀嚼力測定ガム 指模型作成 他</li> </ul> <p>咀嚼力測定ガムブースでは噛むことの効果を説明し、食事の大切さを啓発した。</p>
備 考	来年度も開催予定。

### 3 4 公益社団法人 青森県看護協会

事業名 ①	看護の日・看護週間事業
期 日	平成 30 年 5 月 6 日～5 月 12 日
場 所	県内 6 支部及び会員所属病院
活動内容・参加者等	地域において一般県民を対象にした生活習慣病予防等の食育推進に係る活動の実施。
事業名 ②	「まちの保健室」定期的健康相談事業
期 日	平成 30 年 4 月～30 年 12 月
場 所	県内 3 か所
活動内容・参加者等	<p>青森市：道の駅「ゆ～さ浅虫」 (16 日間)</p> <p>八戸市：「はっち」 (36 日間)</p> <p>鱒ヶ沢町：海の駅「わんど」 (31 日間)</p>
事業名 ③	各市町村における「健康まつり」参画活動
期 日	平成 30 年度
場 所	県内 6 支部「健康まつり」開催地
活動内容・参加者等	健康まつりに参加した地域の一般市民を対象にした健康相談による食育推進活動の実施。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	看護協会会員が県内各地で県民の健康づくりのために健康相談等を開催し、看護の知識・技術を提供することを継続的に実施している。

### 35 公益社団法人 青森県栄養士会

事業名 ①	「無料栄養相談」あおもり栄養ケア・ステーション 1
期 日	平成 30 年度
活動内容・ 参加者等	県民を対象に、無料で栄養相談や食育相談を実施。 電話：毎週火曜日 10 時～12 時 HP 随時
備 考	平成 31 年度も実施予定
事業名 ②	「親子料理学校」あおもり栄養ケア・ステーション 2
期 日	平成 30 年 12 月 8 日
場 所	金沢小学校
活動内容・ 参加者等	青森中央卸売市場からの依頼で、県産の食材を使った調理実習。
事業名 ③	減塩プロジェクト 「減塩親子料理教室」
期 日	平成 30 年 9 月 1 日、10 月 6 日、11 月 11 日
場 所	八戸市小中野公民館、むつ市中央公民館、藤崎町ふれあいずーむ館
活動内容・ 参加者等	栄養士会の短命県返上の事業「減塩プロジェクト」で乳和食の献立を使っ ての親子の料理教室。 八戸市 7 組 17 名、むつ市 11 組 26 名、藤崎町 3 組 8 名の参加。
事業名 ④	減塩プロジェクト事業 1 (弘前市民の健康まつり)
期 日	平成 30 年 7 月 8 日
場 所	ヒロロ
活動内容・ 参加者等	「栄養相談コーナー」 683 名 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩みそ汁試飲 443 名 食育 SAT システム体験 240 名、減塩アンケート 321 名 健康おみくじ (ポケットティッシュ)
事業名 ⑤	「サンロード健康フェア」あおもり栄養ケア・ステーション 3
期 日	平成 30 年 8 月 29 日、30 日
場 所	サンロード青森
活動内容・ 参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩アンケート 100 名
事業名 ⑥	減塩プロジェクト 2 (八戸市環境・健康フェスタ 2018)
期 日	平成 30 年 9 月 30 日
場 所	八戸市公会堂
活動内容・ 参加者等	減塩の大切さ ( 0.7%みそ汁の試飲 639 名、減塩アンケート 264 名 )、 野菜摂取適正体重についての栄養相談 265 名を行った。
事業名 ⑦	減塩プロジェクト 3 (青森市短命県返上特別講演会)
期 日	平成 30 年 10 月 9 日
場 所	リンクステーション青森
活動内容・ 参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩アンケート 114 名 栄養相談

事業名 ⑧	減塩プロジェクト 4 (横内センターまつり)
期 日	平成30年10月20日
場 所	横内市民センター
活動内容・ 参加者等	減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩みそ汁の試飲 95名 減塩アンケート70名、栄養相談 23名
事業名 ⑨	減塩プロジェクト 5 (十和田市コミュニティまつり)
期 日	平成30年10月28日
場 所	十和田市
活動内容・ 参加者等	「栄養相談コーナー」 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩アンケート142名
事業名 ⑩	減塩プロジェクト 6 (東北町健康福祉まつり)
期 日	平成30年11月4日
場 所	東北町
活動内容・ 参加者等	「栄養相談コーナー」 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩アンケート91名 減塩みそ汁体験121名
事業名 ⑪	減塩プロジェクト 7 (あおもり健康寿命延伸フェア2018)
期 日	平成30年11月13日
場 所	アウガ
活動内容・ 参加者等	栄養相談28名 減塩みそ汁体験 115名、減塩アンケート 131名
事業名 ⑫	減塩プロジェクト 8
期 日	平成30年11月17、18日
場 所	鶴田町 鶴遊館
活動内容・ 参加者等	「体験コーナー」0.7%みそ汁の試飲、あなたも栄養士！粘土で作るバランス食、「減塩アンケート 89名」「栄養相談」17日69名、18日74名参加
事業名 ⑬	減塩プロジェクト 9 (健康づくり市民のつどい)
期 日	平成30年11月17、18日
場 所	スポカルイン黒石
活動内容・ 参加者等	「栄養相談コーナー」(2日間で600名) 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、栄養クイズ、減塩アンケート534名 健康おみくじ(ポケットティッシュ)、栄養相談60名
事業名 ⑭	減塩プロジェクト 10 (七戸町健康フェア)
期 日	平成30年12月2日
場 所	七戸町
活動内容・ 参加者等	「栄養相談コーナー」 減塩のぼり、減塩タペストリーの掲示、減塩アンケート59名
事業名 ⑮	「ウェルネスセミナー」 あおもり栄養ケア・ステーション 4
期 日	平成30年1月4日～12月14日
場 所	県内6カ所
活動内容・	健康寿命アップのための健康を目指した食事やバランス食、スポーツをする人

参加者等	の栄養等の講演、ビデオ視聴
取組の具体的手法や特徴的なこと	大塚製薬からの委託事業
事業名 ⑯	「アスリートプログラム」 あおもり栄養ケア・ステーション 5
期 日	平成 30 年度
場 所	マエダアリーナ（青森市）
活動内容・参加者等	中・高校・一般のスポーツ選手を対象に食事栄養診断と栄養相談 種目は自転車、バドミントン、ボート、スキー、スピードスケート等、計 34 回
取組の具体的手法や特徴的なこと	青森県スポーツ科学センターとの委託事業
事業名 ⑰	「合浦保育園食育講座」 あおもり栄養ケア・ステーション 6
期 日	平成 30 年 6 月 16 日
場 所	合浦保育園（青森市）
活動内容・参加者等	合浦保育園の食育参観日「乳幼児期を健やかに」のテーマで 30 分の講演 参加者 約 60 名
取組の具体的手法や特徴的なこと	合浦保育園からの依頼 3 色食品群で、バランスのとれた食事を家庭で実践するためのコツ等。
事業名 ⑱	「保育園の給食担当者研修」 あおもり栄養ケア・ステーション 7
期 日	平成 30 年 11 月 8 日
場 所	天間林保健センター
活動内容・参加者等	食育についての講演 保育園給食を担当する栄養士及び調理師 30 名
取組の具体的手法や特徴的なこと	離乳食、乳幼児期の食事、子供への減塩
事業名 ⑲	「県庁職員生活習慣病改善セミナー」 あおもり栄養ケア・ステーション 8
期 日	平成 30 年 11 月 16 日、12 月 15 日
場 所	アピオあおもり 調理室
活動内容・参加者等	簡単に作れるバランス食の説明と実践 参加者 20 名
取組の具体的手法や特徴的なこと	青森県地方職員共済組合よりの依頼。 単身者が、健康的に生活するために、バランスの良い食事、減塩等の知識を持ち、実際に作って試食

### 36 社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

事業名	「こども食堂」ネットワークミーティング
期 日	平成30年6月13日（水）
場 所	県民福祉プラザ（青森市）
活動内容・参加者等	青森県内で「こども食堂」を運営している方やこれから開設したいという方を支援するため、県内で「こども食堂」を実際に運営している状況について情報交換を行った。参加者は100人

### 37 一般社団法人 青森県保育連合会

事業名 ①	平成30年度 給食研修会
期 日	平成30年11月16日
場 所	ホテル青森
活動内容・参加者等	<p>会員施設 給食関係者及び保育関係者 237名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の食生活について学ぶ 講師：東北女子大学 家政学部 健康栄養学科 教授 妹尾良子氏</li> <li>・口腔機能の発達に応じた食事提供について学ぶ 講師：小島歯科医院 名誉院長 小島登市</li> </ul>
事業名 ②	平成30年度 第3回給食部会
期 日	平成30年11月30日
場 所	青森市総合福祉センター
活動内容・参加者等	<p>給食部会 部会員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①調理実習 ・離乳食について（同じ食材を利用しての調理方法）</li> <li>②学習会 ・離乳食の取組について</li> </ul> <p>講師：青森中央短期大学 食物栄養学科 専任講師 森山洋美氏</p>
取組の具体的な手法や特徴的なこと	県内保育所等の給食関係者の資質及び専門性等の向上を目指し開催。

### 38 国立大学法人弘前大学 農学生命科学部

事業名 ①	公開講座「リンゴを科学する」
期 日	平成30年12月8日
場 所	平川市生涯学習センター
活動内容・参加者等	①業務加工用りんご生産に向けた長野県の取り組み ②りんご「ふじ」のつる割れ ③りんご園の気象環境とりんご樹の光合成 ④我が国りんご輸出と国際競争についての講演
事業名 ②	親子体験学習
期 日	平成30年6月2日、6月16日、9月29日、10月6日、11月3日
場 所	金木農場、藤崎農場
活動内容・参加者等	羊の毛刈、田植、リンゴの摘果、昆虫採集、さつまいもの収穫、イネ刈りなど
備 考	来年度も実施予定

### 39 学校法人 青森田中学園 青森中央短期大学

#### 1 公開講座における食育活動の実践

事業名 ①	食の安全って？正しい知識で賢く選ぼう！
期 日	平成30年6月9日
場 所	本学2号館3階 232教室
活動内容・参加者等	一般の方を対象に、食の安全の基本的な考え方と食品表示の見方のポイントについての講座を実施した。
事業名 ②	親子クッキング：桃の節句のごちそうを作ろう！Vol.2
期 日	平成31年2月23日
場 所	本学 調理実習室
活動内容・参加者等	園児・児童と保護者を対象に、桃の節句にちなんだ食材、色、盛り付けなどを工夫した料理をテーマとし、親子で楽しめる調理実習を実施する。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	専門的知識をわかりやすく伝える講座や、参加者が楽しみながらできる調理体験を行い、知識や技術の習得とともに講座を通して食への興味・関心をもつきっかけになるような内容としている。継続的に実施している講座であり、来年度以降も学科の特性を活かした内容で実施していきたい。

2 教員が依頼された出前講座・研修会での食育の普及活動

事業名 ①	カラダは食べ物でできている～食習慣を見直し、食べて改善しよう～
期 日	①平成 30 年 5 月 12 日 ②平成 30 年 8 月 24 日 ③平成 30 年 11 月 2 日 ④平成 30 年 12 月 11 日
場 所	①つくし第 2 こども園 ②青森県立中里高等学校 ③平内町学校保健会 ④青森県立若葉養護学校
活動内容・参加者等	園児の保護者、高校生、学校保健会会員、養護学校の児童生徒を対象に、普段の食事を見直し、自分の目指すカラダにするためのヒントについて講話を行った。
事業名 ②	食の安全性について
期 日	平成 30 年 7 月 13 日
場 所	アウガ 5 階小会議室
活動内容・参加者等	青森市消費者の会の会員の方を対象に、食品を賢く選んで正しく取り扱うための方法について講話を行った。
事業名 ③	体内時計と健康
期 日	平成 30 年 7 月 28 日
場 所	津軽障害者就業・生活支援センター
活動内容・参加者等	成人の利用者の方を対象に、体内時計と健康の関係について講話を行った。
事業名 ④	はじめての一人暮らしクッキング
期 日	平成 31 年 1 月 24 日
場 所	青森県立青森中央高等学校 調理室
活動内容・参加者等	高校生を対象に、一人暮らしに必要な調理技術の基本について、実際に料理を作りながら講座を行った。
事業名 ⑤	食の安全性 ―正しい知識で賢く選ぼう―
期 日	平成 30 年 11 月 7 日
場 所	県民福祉プラザ
活動内容・参加者等	第 54 回青森県消費者大会において、食の安全の基本的な考え方と食品表示の見方のポイントについて講演を行った。
事業名 ⑥	青森中央短期大学食育講座
期 日	①平成 30 年 5 月 1 日 薄市こども園
場 所	②平成 30 年 6 月 19 日 城北こども園 ③平成 30 年 6 月 22 日 石川こども園 ④平成 30 年 6 月 30 日 西中野目保育所 ⑤平成 30 年 8 月 8 日 野辺地町健康増進センター ⑥平成 30 年 8 月 29 日 こども園こどまり ⑦平成 30 年 9 月 22 日 新郷村立西越小学校 ⑧平成 30 年 9 月 25 日 石川こども園 ⑨平成 30 年 10 月 9 日 城北こども園

	⑩平成 30 年 10 月 19 日 合浦保育園 ⑪平成 30 年 11 月 2 日 今別こども園 ⑫平成 30 年 11 月 6 日 中里こども園 ⑬平成 30 年 11 月 9 日 明星こども園 ⑭平成 30 年 11 月 27 日 六戸町立開知小学校 ⑮平成 30 年 11 月 13 日 城南こども園 ⑯平成 30 年 12 月 5 日 七戸保健センター ⑰平成 30 年 12 月 9 日 浪岡高校 ⑱平成 30 年 12 月 12 日 富野こども園 ⑲平成 30 年 12 月 14 日 馬門小学校 ⑳平成 31 年 2 月 19 日 城北こども園
活動内容・参加者等	園児、保護者、親子、職員などに対して、望ましい食習慣や食生活についての講話や実習を行った。
取組の具体的な手法や特徴的なこと	出前講座は学科の専門性を活かしたテーマを設定し、参加者が興味をもちながら「食」について学ぶことができる内容としている。食育講座では依頼先のニーズに応じた内容を実施している。

### 3 平成 30 年度あおもり食育サポーター促進事業（県委託業務）

事業名 ①	あおもり食育サポーター事務局による食育活動
申込先別 依頼件数	保育所・小学校（7件）、保育連合会（3件）、一般・その他（3件） 合計 13 件（平成 31 年 2 月 1 日現在依頼分）
活動内容・参加者等	あおもり食育サポーターが、幼児から一般まで幅広い世代を対象に青森県全域で食育活動を行った。

### 4 学生が中心となって実施している食育活動、その他

事業名 ①	翔麗祭における食育体験・展示
期 日	平成 30 年 9 月 22 日～23 日
場 所	青森中央短期大学 7 号館 712 教室
活動内容・参加者等	本学学園祭において、幼児から成人の方を対象とした食育クイズや食育教材の展示などを実施した。
事業名 ②	産学官共同による「中短生が伝える青森の味！彩り弁当第二弾」考案
期 日	平成 30 年 5 月～9 月上旬
場 所	青森県内
活動内容・参加者等	本学学生が青森県産品を使用した地産地消弁当を考案し、その販売を企業が行った。
事業名 ③	学生食育プロジェクト「おむすび」
期 日	①平成 30 年 8 月 24 日 ②平成 30 年 8 月 25 日
場 所	①今別町土曜放課後クラブ ②筒井保育園



活動内容・参加者等	食物栄養学科と幼児保育学科の学生がお互いの専門性を活かし、学生食育プロジェクト「おむすび」として共同で食育活動を実施している。児童対象では食育クイズや元気に長生きできる食習慣についての講座、園児対象では絵本の読み聞かせを行い食事マナーについての講座を実施した。
事業名 ④	食べよう青森！樹の実プロジェクト
期 日	①平成30年9月22日～23日 ②平成31年2月11日
場 所	①② 青森中央短期大学
活動内容・参加者等	地産地消と学園内の繋がりを意識し、本学内で収穫したカシスなどの樹の実を活用した学生プロジェクトとして、オリジナルパウンドケーキを考案し、9月22日・23日の翔麗祭で販売した。また、2月11日には中学生・高校生を対象にバレンタインチョコレート講座を実施した。
事業名 ⑤	特別養護老人ホームにおける手作りおやつを提供
期 日	①平成30年9月29日 ②平成30年11月2日
場 所	社会福祉法人中央福祉会 特別養護老人ホーム三思園
活動内容・参加者等	嚥む力や飲み込む力が弱くなった方でも「口から食べる喜び」を感じられるように、「秋色水玉羊羹」「カレー風味のがっばら餅」を学生が考案・調理し、入所者の方に提供した。

#### 40 あおもり食育検定委員会（事務局：青森中央短期大学）

事業名①	平成30年度あおもり食育検定
期日	平成30年6月10日（日）
場所	主会場 青森中央短期大学（青森市）、東北女子大学（弘前市）、 八戸学院大学短期大学部（八戸市）、むつ来さまい館（むつ市） 団体会場 県立八戸西高等学校（八戸市）、県立木造高等学校（つがる市）、県立青森南 高等学校（青森市）、県立弘前実業高等学校（弘前市）、東北女子短期大学（弘 前市）、青森魚類株（青森市）、東北栄養専門学校（弘前市）
活動内容・ 参加者等	会場：県内4会場（主会場）及び7団体会場（準会場）で実施した。 状況：288名が受検し、203名が合格した。
取組の具体的 手法や特徴的 なこと	同一団体で10名以上の受検者に対しては、団体受検（準会場）を推奨している。
備考	2019年度も県内4会場で実施する。2019年度のあおもり食育検定については、 4月を目途にホームページから受験要項とテキストをダウンロードできるように する。

#### 41 株式会社 東奥日報社

活動内容
食と健康は重要なテーマであり、これまでも「短命県」の課題を探る連載や県内の食の魅力を 紹介する企画等を展開してきた。2017年8月から、医師で作家の鎌田實氏に月1回連載の寄稿を 依頼。短命県だった長野県が、塩分摂取の低減などで長寿日本一になる上で大きな役割を果たし た同氏から、連載を通じて様々な提言を頂いている。今後も地元の報道機関として、紙面を通し て食育の推進に協力していきたい。